

## ■田村まちづくりビジョンコンセプトについて

### 【基本構想における都市の将来像】

ひとにやさしい 自然にふれあえる都市

### 【キーワード】

自然（水、みどり、琵琶湖、里山） 交流、つながり（学生・通勤者、地域住民、来街者）  
未来への広がり 豊かさ 魅力 笑顔

### ○コンセプトの案

- ①自然と共に、地域が生き、人がつながる 湖辺のまちづくり
- ②定住と交流により未来に広がる都市づくり
- ③人と人、人と自然が交わる豊かな都市づくり
- ④駅を中心に人がつながる笑顔と魅力があふれるまちづくり
- ⑤人が集まる、交流が生まれる、住みたくなるまちづくり



### ◆キャッチロゴ

田村の「田」の字と無限大マークを融合させて、核となる田村駅を中心に東側の定住人口と西の交流人口が交わり、無限の可能性を生み出すという意味を込めたもの。

なお、右は東側のシンボルである田村山を緑で表し、左は西側のシンボルである琵琶湖を青で表している。

## ○田村駅を中心とするまちづくりビジョンのコンセプト

### 田村まちづくりビジョンのコンセプト



### 【田村まちづくりビジョンの整備目標】

#### ①魅力ある駅周辺の環境づくり

通勤、通学の利用者にとって使いやすい駅となるよう「駅舎改築の推進」や「駅前広場の整備（東口・西口）」、「駐車場・駐輪場の整備」、アクセス道路となる「都市計画道路の整備」を行います。また、利用者の利便性を高めるために、あわせてコンビニやカフェなどの付加機能による魅力付けを目指します。

#### ②便利で快適な居住環境づくり

駅まで歩いて行ける範囲に誰もが便利で快適に暮らすことができる居住環境を創出するために、住居とスーパーマーケットなどの商業施設の「民間開発の促進」を行います。また、従来からのコミュニティを維持した形で区画整備する手法として土地区画整理事業による「官民連携による住宅地整備の促進」を目指します。

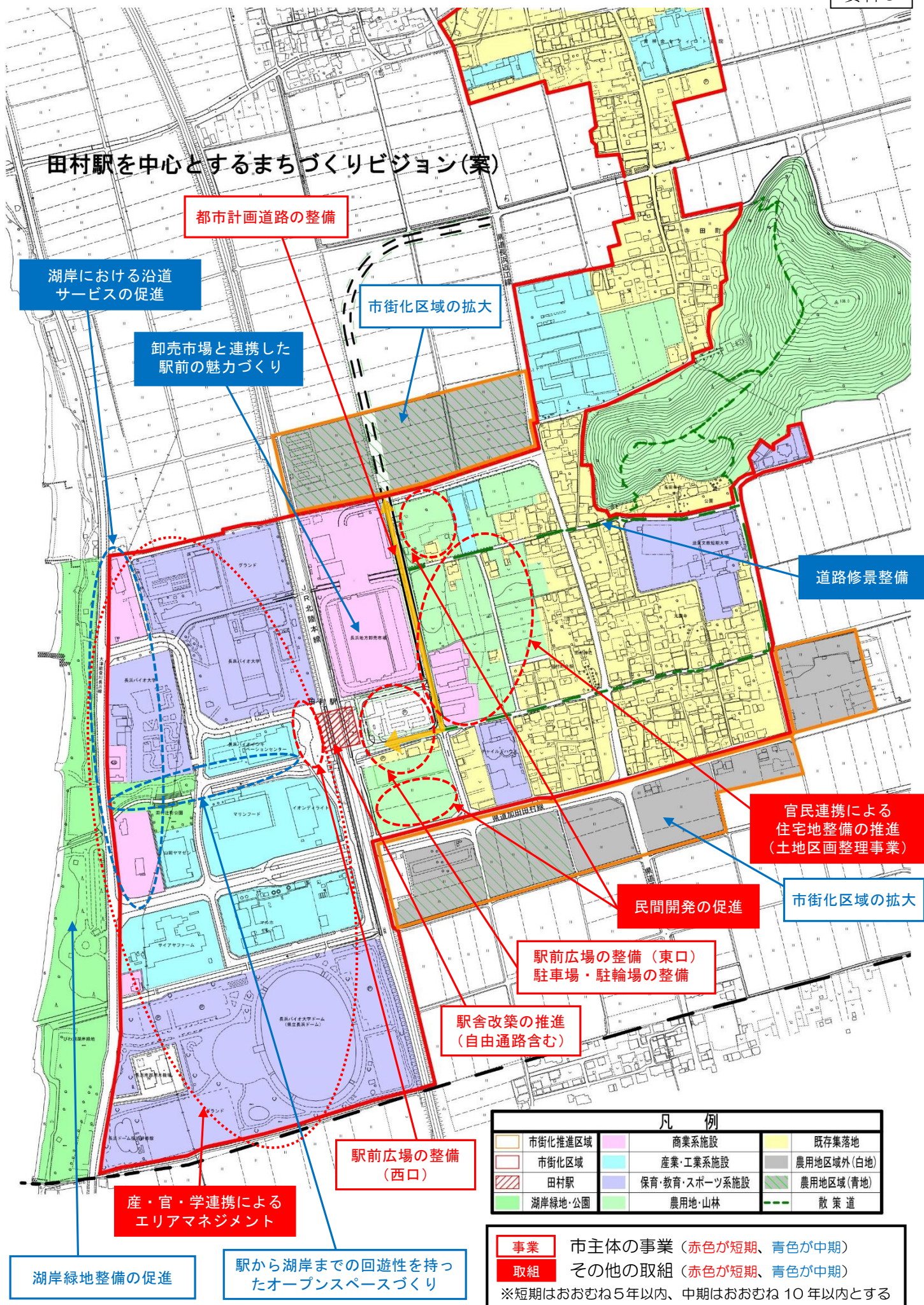
#### ③交流人口増加を促す地域の魅力発信

地域資源である琵琶湖と田村山を活用するため、「駅から湖岸までの回遊性を持ったオープンスペースづくり」や「湖岸緑地整備の促進」、「湖岸における沿道サービスの促進」、田村山への誘導道路の「道路修景整備」を行います。また、駅の東西における産・官・学の施設の立地を生かして、「卸売市場と連携した駅前の魅力づくり」や駅西側エリアにおける「産・官・学連携によるエリアマネジメント」などの魅力発信を目指します。

#### ④計画的な市街化の誘導による新たな都市空間づくり

無秩序な市街地の形成を抑制しつつ、今後のまちづくりに必要となる都市機能（教育・医療・福祉等）を適切に誘導するため、市街化区域の開発が進んだ後にその周縁部において「市街化区域の拡大」を目指します。







## 田村駅周辺整備で目指す将来イメージ

